

1 調査日 平成 27 年 8 月 5 日（水）

2 調査の概要

(1) NPO法人芸術村IN余呉実行委員会（長浜市）

滋賀県では、「美の滋賀」づくりの一環として、平成 25 年度から、アートや暮らし・生活文化の中にある美の資源を育てたり、発信したりすることにより、「美の滋賀」の土壌となる、多様で持続的なつながりの形成や魅力ある地域づくりを進めるモデル事業を、滋賀県内の活動団体に委託して実施している。

NPO法人芸術村IN余呉実行委員会が実施する「余呉まるごと里山芸術村」は、同事業の採択を受けた活動で、町全体を芸術広場に見立て、里山と、それらを構成する人々の暮らしに根付いた古寺や民家等を会場にして多様な分野の芸術作品を展示している。

地域資源をうまく活用しながら、地域に芸術を定着させるとともに、地域の魅力発信を図る活動の事例として調査を行った。また、実行委員会のメンバーとの県民参画委員会を行い、「美の滋賀」づくりについて意見交換を行った。

委員からは、もっと外に情報発信をしてたくさんの人に知ってもらえるようにしていただきたい、夜真っ暗になることを逆に生かして町中にろうそくを置いてアートにしてみてもどうか、などの意見が出された。



(2) 県立近代美術館（大津市）

滋賀県では、平成 25 年 12 月に策定された新生美術館基本計画に基づき、近代美術館の改修と新館の建設、関連するびわこ文化公園の改修を一体的に行う施設・機能整備を進めることとしており、今年度は設計者による県民を対象としたワークショップなどを実施し、11 月に基本設計を完了する予定となっている。

については、現在の県立近代美術館の施設概要、運営状況、課題等を把握するとともに、新生美術館の整備計画についての調査や建設予定地の視察を行った。

委員からは、新生美術館整備をきっかけに、これまで美術に興味がなかった人たちも呼び込めるようにしていただきたい、駐車場整備、バスの運行、交通アクセスの向上に努めていただきたい、今の美術館で課題となっていることは新生美術館整備で全てクリアしなければ意味がない、などの意見が出された。



(3) 国道 422 号道路改築工事現場（大津市）

国道 422 号は、大津市の国道 1 号から甲賀市、三重県伊賀市などを経て紀北町へ至る延長 164km の幹線道路である。現在の国道 422 号は、立木観音付近の瀬田川沿いから大石東町の間で道幅も狭く、歩道の整備も十分でないため、バイパス道路の整備を行っている。

橋梁部分の工事については、今後議決を要する工事でもあることから、工事の概要と進捗状況について調査を行った。

